

利用形態から整理したリニア駅前エリアに 必要な交通空間について

令和2年9月4日

山梨県

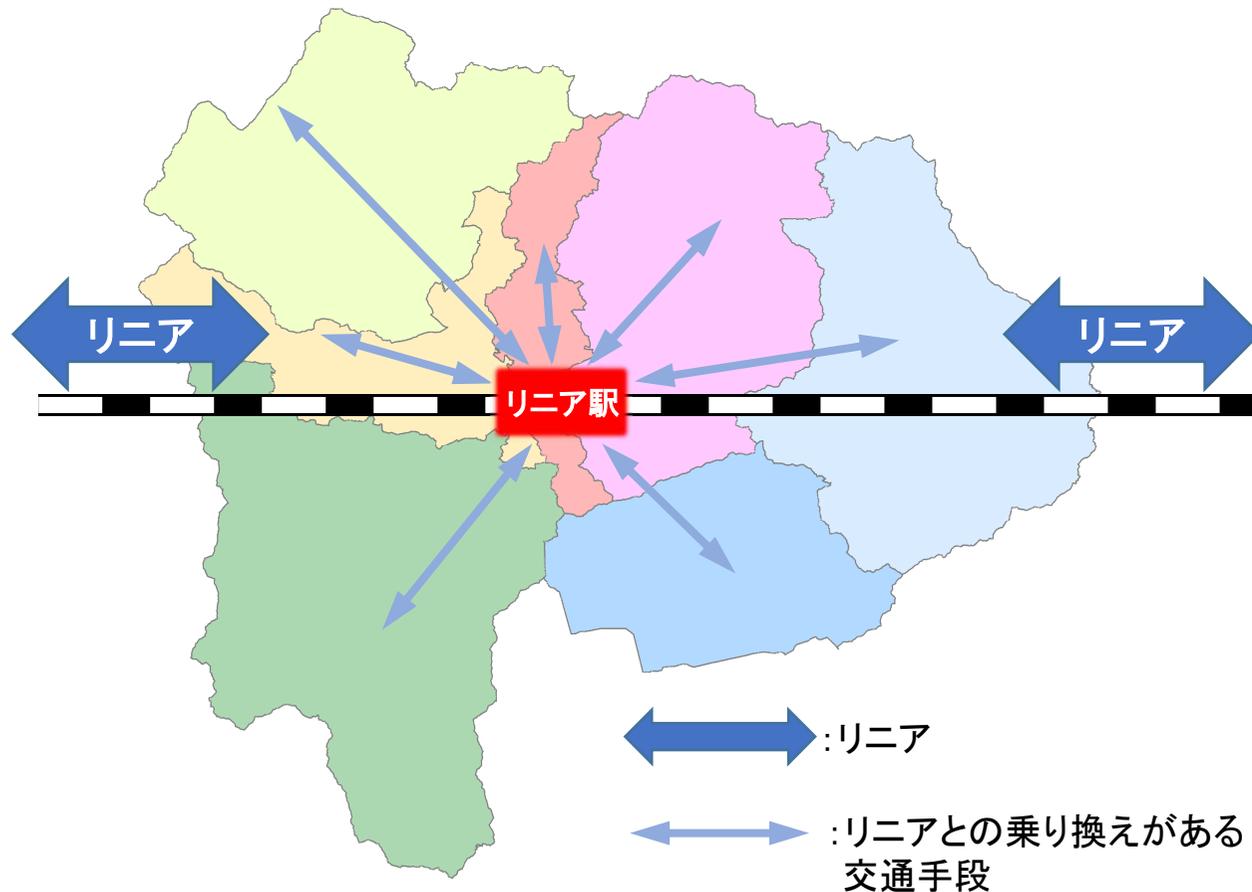
想定されるリニア駅前エリアの利用形態①

- 整備テーマである「**恵まれた道路条件を活かした交通結節機能の整備**」を検討するにあたり、リニア駅前エリアに必要な交通結節機能をリニア駅の**利用形態**から整理する。

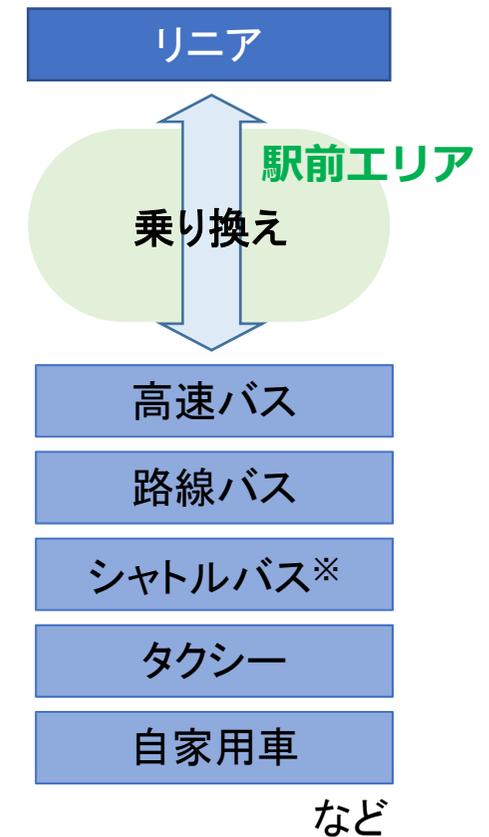
①【リニアを利用する人】

リニア乗降客の中継地点として、他の交通手段との乗り換え

■ 利用形態イメージ



■ 乗り換えイメージ



※リニア駅—甲府駅間及びリニア駅—小井川駅間のシャトルバスによる接続を検討している。

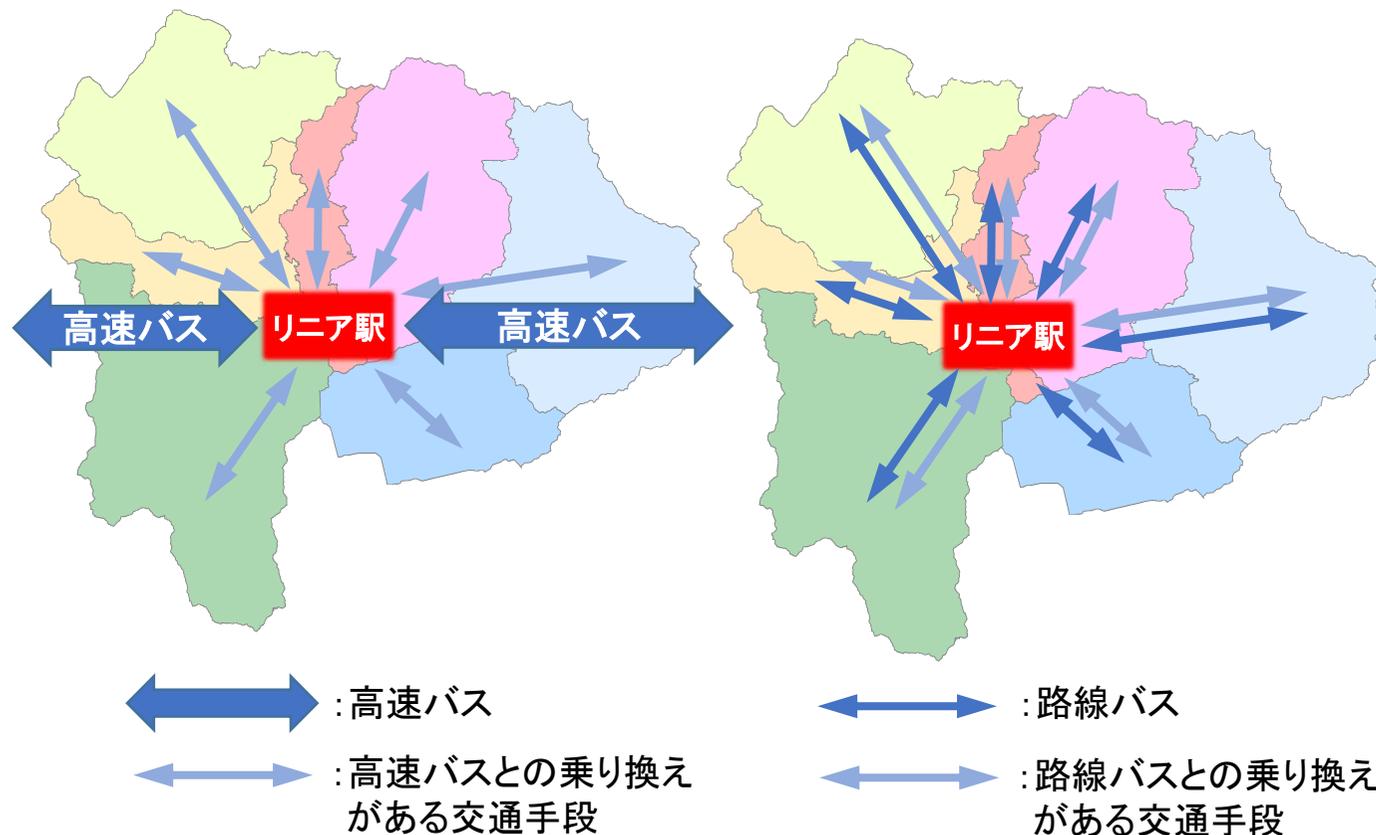
想定されるリニア駅前エリアの利用形態②

②【リニアを利用しない人】

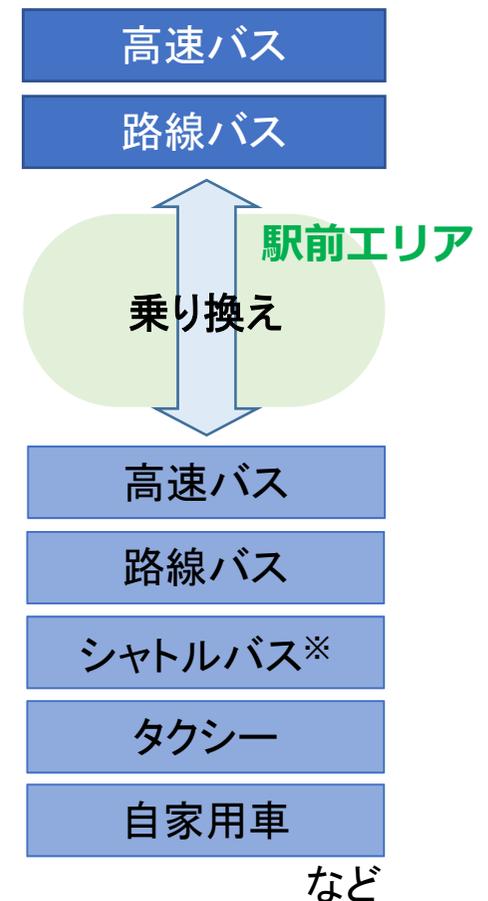
山梨県の公共交通ネットワークのハブ※として、県内外の移動におけるバスや自家用車などの乗り換え

※「山梨県バス交通ネットワーク再生計画（2017年3月策定）」では、バス交通のターミナルとして、公共交通ネットワークのハブと位置付けられている。

■利用形態イメージ



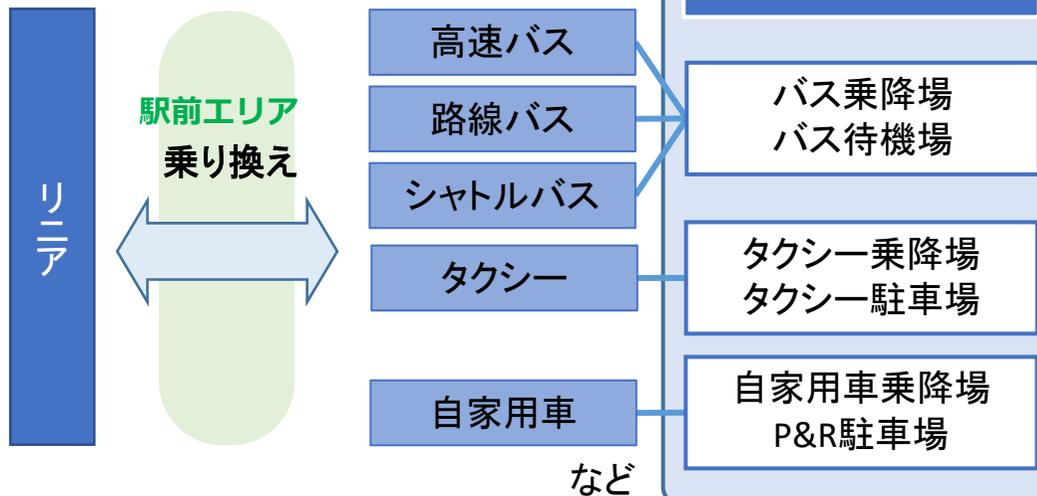
■乗り換えイメージ



※リニア駅—甲府駅間及びリニア駅—小井川駅間のシャトルバスによる接続を検討している。

リニア駅前エリアに必要な交通空間

リニアを利用する人



付加的機能に必要な空間

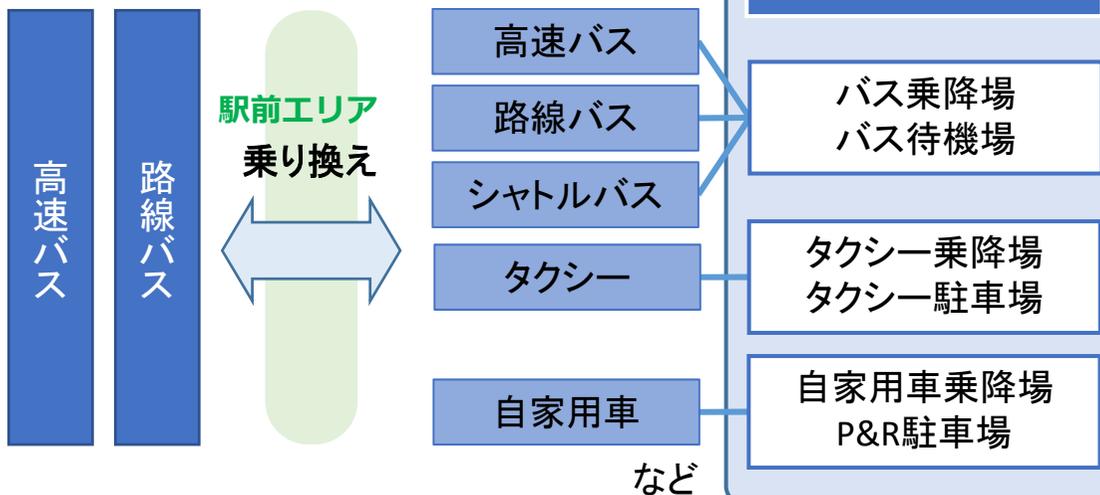
- 駅前エリアの利便性をさらに高めるため、設置の検討をすべき空間

観光バスや送迎バスの乗降場

K&R※による待機やホームへの送迎などによる短時間の駐車に必要なスペース
(短時間駐車場等)

など

リニアを利用しない人



歩行空間

- 交通結節機能として必要な歩行スペース
- バス待ちやタクシー待ちなどの滞留に必要なスペース

歩道や滞留スペース

など

次世代モビリティへの対応

- 先進交通技術の導入を視野に入れた整備

超小型モビリティ

多目的モビリティ

シェアリングモビリティ など

※ K&R (キス・アンド・ライド)
自家用車で家族などに駅まで送迎してもらい、公共交通を利用する交通形態。